

【競技方法】

1. 2人1組のチーム戦で、18ホール・フォアボールストロークプレーによって行う。
使用ティーは男子・青ティー、女子は緑ティーを使用する。
2. それぞれが各自の球をプレーし、2人のうちどちらか少ない方のスコアをそのホールのスコアとする。(パートナーの1人が1ホールのプレーを終了しなくても罰はない)
チームのスコアが確定した時点でパートナーの球は速やかにピックアップすること。
3. ティーショットはスタートホールにおいては組み合わせ表記載の順番とする。次のホール以降はチームスコアの良いチームがオナーの権利を持ち、チーム内で任意の打順でプレーすることができる。
4. プレーヤーは同じチーム内のパートナーおよびキャディからアドバイスを受けることができる。他のチームのプレーヤーにアドバイスを与えたり、あるいはアドバイスを求めてはならない。この違反は一般の罰。(規則 10.2a,2b)
5. 故意に違う方向に打つなど、故意にパートナーの援助をするプレーをした場合は、そのホールに一般の罰を付加する。(フェアプレーの精神)
6. プレーの途中で、チーム内の1人が不慮の事故や体調不良等で途中棄権した場合、残りの1人のスコアをチームのスコアとして採用することができる。欠場していたパートナーがホールとホールの間であれば再度合流することもできる。(規則 23.4)
7. チームのどちらかが、競技規則(規則 1.3 など指定されたもの)に基づいて競技失格の罰を受けた場合には、そのサイドは競技失格となる。(規則 23.8b) その場合、残った1人は続けてプレーすることはできない。競技委員会があらたに別のマーカーを準備する。規則違反の罰が競技失格の場合でも、前記 b 以外の場合は、規則違反のあったホールだけの失格となる。(規則 23.8a)
8. マーカーは、パートナー2人(相手サイド)のうちどちらか採用となる方のグロススコアだけを、ホールごとに求められる。採用となるグロススコアは個人別に分かるようになっていなければならない。個人別に分からないときはそのサイドは競技失格となる。パートナーのうち1人だけは規則 23.2b に従うことについて責任を持つことを要する。
9. チームスコアがタイとなった場合の順位の設定は、マッチングスコアカード方式によって決定する。
10. 悪天候等により、全員のプレーが完了できないと委員会が判断した場合には、9ホールにて競技終了とする場合がある。